

教員免許状更新講習 3 2012 年度 平成 25 年 3 月 9 日(土) 報告：中井 弘一

「思考力・判断力・表現力」の育成をめざす指導

- **国際社会を読み解く英語力** —異文化理解の視点から時事素材を教材として—
- **思考力を高める英語授業** —様々な thinking skills , project-based learning などを取り入れて—

■ 講習3

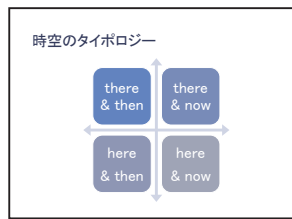
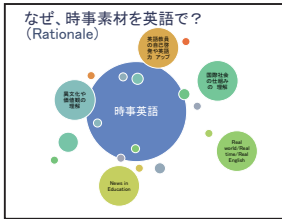
● 「国際社会を読み解く英語力」

—異文化理解の視点から時事素材を教材として—

東條 加寿子

グローバル化の進む国際社会で通用する「思考力・判断力」を養うためには、自文化の価値判断や思考回路から脱却した異文化理解の視点が必要であることを、時事英語素材を使って演習する。

1. なぜ、時事素材を英語で 時空のタイポロジー
2. 時事英語とは何か 時事英語の力
3. なぜ英語で Trust me の誤謬
4. 時事英語教材化の試み 時事英語は役に立つ、しかし
5. 時事素材候補 語彙レベルチェックサイト
6. どのような時事素材を捉えるか どのような観点から切り込むか



1. Martin Luther King - I Have A Dream Speech (Classical)
<http://www.youtube.com/watch?v=smEqnklfYs>
2. Steve Jobs' 2005 Stanford Commencement Address (Standard)
<http://www.youtube.com/watch?v=UF8uR6Z6KLc>
3. Burqa Ban (Professional)
<http://edition.cnn.com/2011/US/studentnews/04/11/transcript.tue/index.html>
4. Global Population Growth (Recommended)
http://www.ted.com/talks/hans_rosling_on_global_population_growth.html

● 「思考力を高める英語授業」

—様々な thinking skills , project-based learning などを取り入れて—

中井 弘一

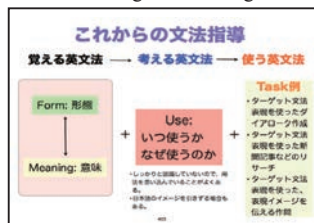
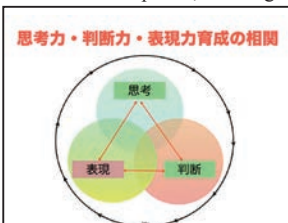
英語の授業で「思考力・判断力・表現力」を育成する指導の構成要素は何か、その key competencies とは何かを探りながら、critical thinking をはじめ様々な thinking skills や PBL などを用いた実際の教材展開例を考える。

1. インターネット時代
2. 思考力・判断力・表現力の育成：論理とは
3. 思考を可視化する：思考のプロセス
4. 書くことで整理する：ノートの取り方、Graphic Organizer の活用
5. 対話型授業で問いかけ合う：質問する生徒の育成
6. 思考力・判断力・表現力を育成する活用型学習活動例

“What to think” から “How to think” へ

Teaching students how to compare, contrast and synthesize data helps them through the disorder that can occur in studying.
“Making thinking visible”

Making thoughts concrete pins ideas to the reality of paper and prevents them from shifting or fading from memory. Internal concreteness helps too, thinking aloud and forming mental images.



■ 講習3 受講者コメント

参加者（紙面の都合により全 28 名のうち 12 名）のコメント

- あっという間の 1 日でした。日々の授業が受験に直結するようなとばかりを扱っているため、本日の講習で学んだようなことはあまり気に留めていませんでした。しかし、時事英語は実際の生活の中で一番必要なものであり、生徒にとっても将来、一番役立つものだと思います。私にとっては難しい内容の講習でしたが、受験のずっと先にある生徒達のことを考えて、5 分でもいいから時事英語を取り入れた授業ができるように努力したいと感じました。本日はありがとうございました。
- 思考力・判断力・表現力を鍛え育成する方法を教えてくださいました。楽しく示唆に富んだ講習で 6 時間があっという間でした。生徒達を encourage できるように、今から来年度の予定をもう一度作り直せるように考えていきます。ありがとうございました。きてよかったです。
- 初めて受けた更新講習が、このように良心的で意味のあるものであったとは、周囲から聞いていたものとの違いに驚き、よい選択をしたことを実感しました。
- 中井先生の講習会や指導助言を継続して受けていることを通して、英語教育で思考力を高めるのに必要なことが徐々に分かってきた。自分が教える生徒達にも聞かせてあげたいし、中井先生に実際に授業をしていただきたいと思った。東條先生のお話を伺って、タイムリーな内容を日常的に生徒の目に触れさせると同時に一つの題材について深く学び考えさせることも大切だと思った。
- 非常に有意義な講義内容であった。iPad を使った講義、英語でのスピーチを映像で見たりと最新のやり方など感じ、またこのような手段で英語を勉強できるかとかと、わたしもまた iPad を購入したくなりました。また、中井先生の講義も非常に内容が豊富で、グループの方と話す機会が多く楽しく受講できました。もっとも話を聞きたいくらいでした。本日は大変ありがとうございました。
- こんなに「熱い」教員免許状更新講習は初めてでした。形式的でなく、参加者に何かを伝えたいという先生方の思いの伝わってくる講習でした。感謝です。6 時間の講習はたいへい 6,000 円かかりますが、今回の講習は 3,000 円というところにも、本講習の目的が具体的に表れているように思いました。
- 午前中の「国際社会を読み解く英語力」については、iPad を使った画期的な講習で内容についても、時事英語や時事問題についての考え方は変わり、今後は授業等でもできるだけ活用できる時間を見つけて他教科の先生方とも相談・協力してやりたいと思った。また、中井先生の思考力を高める英語授業については、教育哲学に始まり、ノートの取り方等細かい学習指導、思考・判断・表現力の育成など、今までの私の授業の隅々まで検証できただけでなく、コミュニケーション能力の育成理論など、その他多くの新しい示唆に富んだ内容であった。新年度の授業プランニング（特にコミュニケーション英語 I）に早速役立てたい。



- 昨年3月から受講し、貴学で3回の講習を受講することにより、更新講習を終わろうとしています。熱心な指導には、ただただ頭が下がる思いで、深く感謝しています。勿論、講習を通して様々な知識や情報を得たことも有意義でしたが、熱心な先生方の英語教育にかける姿勢に接することができたことこそが、本当に貴重な経験でした。これからも、お元気でご活躍ください。
- 東條先生、中井先生 本日は本当にありがとうございました。盛りだくさんの内容でした。帰宅してから自分でレビューしないと消化不良になるほどです。この4月から高等学校でも新学習指導要領に準拠したテキストで授業を行うこととなります。キーワードになっている「思考力・判断力・表現力を育成」するためのヒントを今日はたくさんいただきました。テキストを有効に活用するためのアイデアを知ることができ、本当に充実した一日でした。自ら気付きその上で創意工夫を加えていかなければ、決して生徒をmotivateするような授業はできないことを実感しました。今後も機会があれば、聴講として参加させていただければと思います。
- いつも私たちのことを一生懸命考えて、内容の濃い講習をしてくださり本当にありがとうございます。毎度頭が下がり、感謝の思いでいっぱいになります。東條先生…時事英語はとてもよい教育教材だと思います。難しそうだから…と思っていたら意外なことに生徒から“おもしろい！もっとやりたい”とリクエストをもらったりしました。教師が偏見を持たないこと、自分が興味を持つことが大事だと思います。中井先生…今日も充実した講習をありがとうございました。“基礎知識から応用へ”、今後教師が一番心を砕き発展させていかなければならないところだと思います。益々、教師が試されていきますね。
- 東北の人々に黙祷を…で始まる講習は、そうないことかもしれません。スライド・音楽ともに心がこもった、印象に残るものでした。判断力には選択肢がある。その中から“判断する”行為が生まれることも気付かされました。何気ない活動にも意味がある。意味を持たせなければならぬことを教わった講習でした。
- 昨年夏にも受講させていただきましたが、その時よりも増して話のポイントのテーマ性をはっきりしていたと思い、とても有効に今後の授業に活かせるいろいろなネタや思考法など考えさせていただくことができました。とても一日では収まりきれない内容を、家へ持ち帰っても続けられる学習素材や教材なども提供していただき、来る度にお土産でとてもいっぱいにしていただいて本当に感謝しております。ありがとうございました。

大阪女学院大学 教職課程機関誌 発行

『OJU 教職活動報告・研究 Vol.3』

2012年度の本学教員養成センターの活動や教職課程学生のレポート、現場の先生の実践報告などをまとめたVol.3を去る3月7日に発行した。



本学教員養成センターは、教育の「未来」に貢献する役割を演じてゆきたいと考えている。昨年度は、4年制大学移行措置の学生が教育実習に赴いた。3年生は教職フィールドワークで英国へ出かけた。年を経る毎に充実した活動を行っていきたくと考えている。このVol.3では、2012年度の教職活動の中で教職課程学生のレポートを一層充実させるように努めた。勉強会も現場の先生の発表が中心となり、昨年より更に充実した内容となった。実践記録・実践報告を投稿していただいた中西先生、二森先生、真田先生にお礼申し上げたい。設置して4年目の本学教職課程は、明日の教育を考える教育機関としてこれからも着実な歩みを示してゆく所存である。

目次

| | |
|--|--|
| 巻頭言 教職課程開設から3年経って | ・中学校での授業デザインに大切なこと—その要素 田口 真弓 ・学習者に応じた教材開発 川野 潤美 |
| I 2012年度活動報告 | 3. 教職フィールドワーク(英国)報告・レポート |
| 1. 教員免許状更新講習 | ・ Interesting Educational Features: Observing Classes at Manor School 高井 楓 ・ 日本と英国の教育観点に違いはあるのだろうか? 樋口 綾香 |
| 講習1「教材の開発—その基盤となる考え方と工夫—」 | |
| 講習2「体験型ワークショップ・クリニック: 音声で拓く英語指導のために」 | |
| 2. 授業デザインスキルアップ演習 | 4. 教育実習報告・レポート |
| 3. 勉強会 英語の教え方教室 | ・ 教育実習を通して感じた教育課題 末松 美郷 ・ 教育実習の経験をこれからの英語指導にどのように活かしていくか 小島 緑 ・ 効果的な授業とは 森下 好香・教員指導が基本— —そのための生徒との関係— 茨木 成美 |
| 第15回 Post-reading 活動の効果について、授業改善への試み | |
| 第16回 英語授業ディベート授業実践報告 | |
| 第17回 英語特区における「英語活動」授業の取り組み | |
| 第18回 大阪女学院大学教職フィールドワーク課題研究発表 | V 実践記録・実践報告・自由論考 |
| 第19回 ウェンズランド大学での研修で学んだこと | ■実践記録 |
| 第20回 中高連携の観点からみた四技能をバランスよく伸ばす指導とは | 1. 中高連携の観点から、四技能をバランスよく パス指導とは 滋賀県立八幡高等学校教諭 中西 勝弘 |
| 第21回 私の授業への挑戦、私が試みる指導法 | 2. 活用型学習を育てる授業を目指して—英語I、 OCIでの実践— 兵庫県立尼崎小田村高等学校教諭 二森 正人 |
| II 教員養成センター・ホームページ報告 | ■実践報告 |
| 1. 月別HPアクセス件数(2012年1月~2012年12月) | 1. 生徒の意識および論理思考の可視化を試みて 兵庫県立国際高等学校教諭 真田 弘和 |
| 2. 英語教育 巻頭リレー・エッセイ(2012年2月~2013年1月) | ■自由論考 |
| 3. 書籍紹介(2012年2月~2013年1月) | 1. ハワイビジン英語内の日本語起原語彙—カウアイ イ島リフエプランテーションにおける日本人移民労働 者の生活環境— 本学準教授 夫 明美 2. 英語授業における思考力・判断力・表現力育 成の方途 本学教授 中井 弘一 |
| III OJU 教職ネットの1年 | VI 特別寄稿 |
| 1. ML 配信記録配信件数推移(~2013年1月) | 日本で英語を教えるノン・ネイティブ教師であること 本学教授 寺 秀幸 |
| 2. OJU 教職ネット登録について | |
| IV 教職サークル活動・教職課程活動報告(学生報告) | 資料 教員養成センター Newsletter 2012 |
| 1. サークル活動報告 | 第9号 |
| 2. 学生授業課題レポート: 「英語科教育法I」、「英語科教育法II」 ・ オーディオ・リンガル・メソッドの有効性と指導の 実際 田口 真弓 ・ 英語の教師は英語で授業を進めるべきであるという 考え方について 谷口 亜里沙 ・ Content-Based Approach/Task-Based Approach は役に立つ教授法か?—その指導法の考え方と指導 の実践から— 高井 楓 ・ 認知学習理論は役に立つ指導法か?—その指導 法の考え方と指導の実践から— 谷口 亜里沙 | 第10号 第11号 第12号 |
| | 投稿規定 編集後記 |

<http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc/newsletter/bulletin> に掲載

第22回「英語の教え方教室」勉強会 案内
2013(平成25)年5月18日(土) 14:00~17:00

大阪女学院大学 教員養成センター

「生徒の意欲を引き出すメンタルトレーニング」

大阪府立枚方津田高等学校 久保田 親夫 教諭

最近、意欲があまり見られない生徒が多くなったと聞きます。昔と比べ、押し寄せる情報の渦の中、選択の自由も格段に増えましたが、自由が増えるほどに判断を迫られる量が増え、同じことを望む人が増すほどに競争が激化し、生きる課題も一層複雑になりました。高まる不安に学習意欲も失いがちになるのではと思われます。そこで、今回は英語の授業発表でなく、生徒の意欲を引き出すメンタルトレーニング講習を久保田先生にお願いしました。



メンタルトレーニングとは、意志・意欲・決断力などの精神力を強化するトレーニングです。教室に、「笑われるかもしれない」「怒られるかもしれない」「嫌われるかもしれない」「馬鹿にされるかもしれない」「早く結果をだしたい」「どうせやっても無駄だ」と思っている生徒はいないでしょうか。そんな生徒に「私は意欲的に取り組む。私は積極的にアピールできる。私はやる気満々だ」とポジティブに考えさせられるように、久保田先生が学ばれた「実力発揮の公式」をベースに、心と体の抵抗を減らし集中力を高めるトレーニング講習をしていただきます。ご参加の際には、黄色の硬式テニスのボールを中古で結構ですので、テニス部から借りたりして2~3個用意してください。—昨年の「英語I」、昨年度の「英語速読」「英文法II」でのメンタルトレーニングや教具についてお話していただきます。久保田先生は、大阪大学の学生にも特別講義でこのメンタルトレーニングを講習されています。皆さんも是非この講習で得たトレーニング法を実際の授業で実践し、生徒の不安解消にこれまでと異なるアプローチを試してみませんか。また、ちょっとした教具の開発についても時間が許す限り紹介していただこうと思っています。